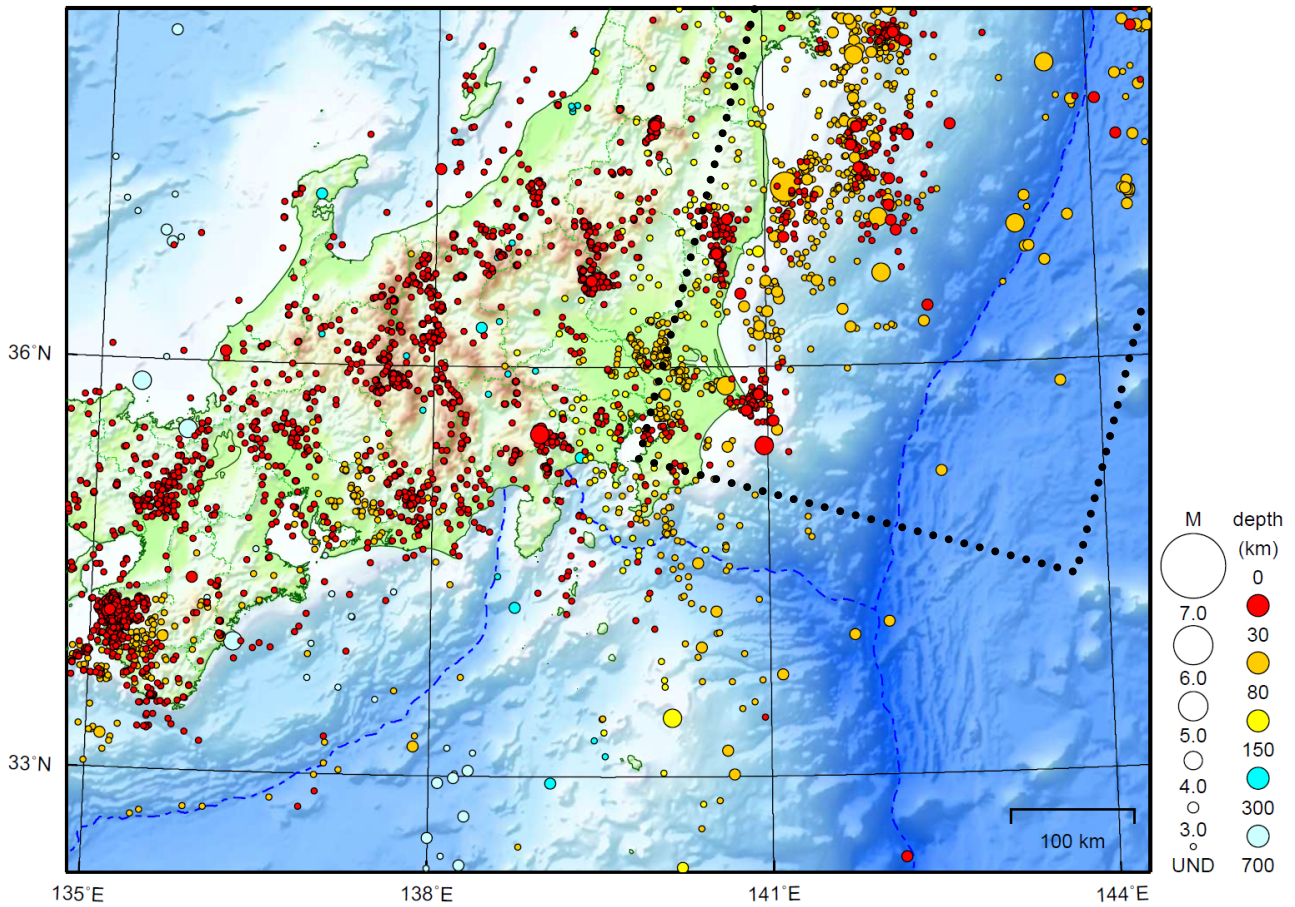


関東・中部地方

2015/10/01 00:00 ~ 2015/10/31 24:00

N=4459



※ 点線は「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の余震域を表す

地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

特に目立った地震活動はなかった。

（上記範囲外）

- ・ 10 月 20 日に小笠原諸島西方沖で M5.8 の地震（最大震度 3）が発生した。

（上記期間外）

- ・ 11 月 7 日に茨城県南部で M4.9 の地震（最大震度 4）が発生した。

〔上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。〕

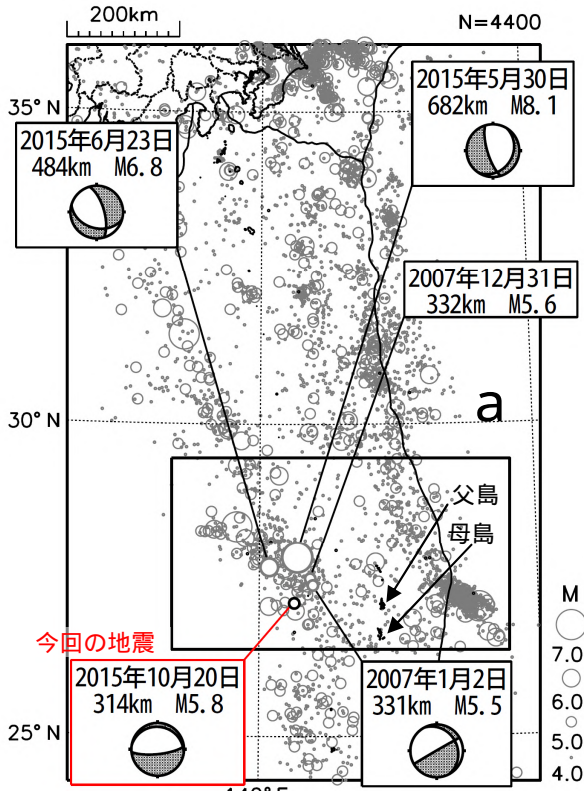
10月20日 小笠原諸島西方沖の地震

震央分布図

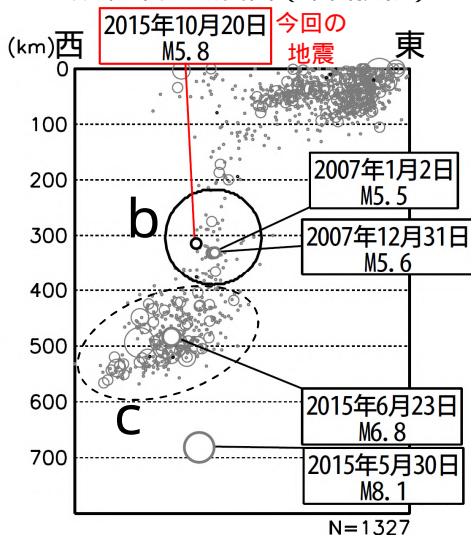
(2001年1月1日～2015年10月31日、
深さ0～700km、M 4.0)

2015年10月の地震を濃く表示

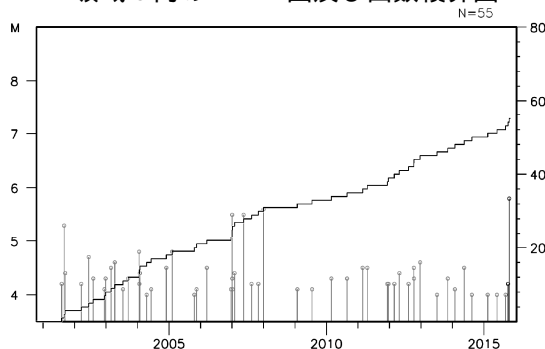
図中の発震機構はCMT解



領域a内の断面図 (東西投影)



領域b内のM - T図及び回数積算図



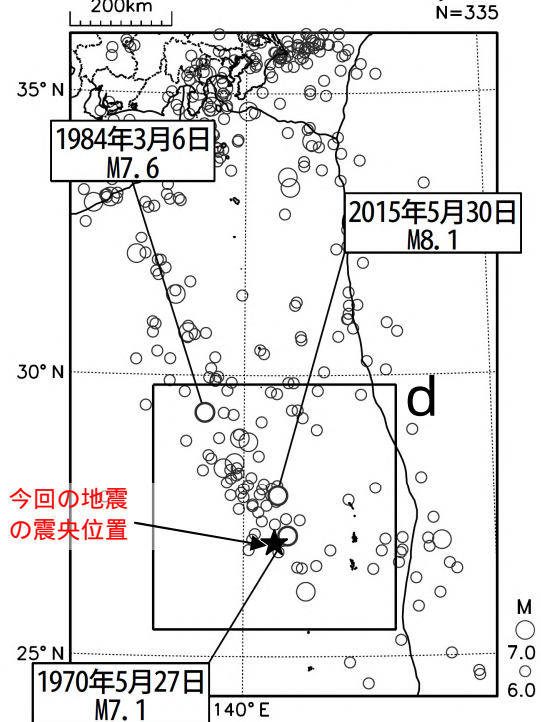
2015年10月20日18時29分に小笠原諸島西方沖の深さ314kmでM5.8の地震(最大震度3)が発生した。この地震は、太平洋プレート内部で発生した。発震機構(CMT解)は、概ね鉛直方向に圧力軸を持つ型である。

2001年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域b)は、M5.0以上の地震が時々発生している。今回の地震の震源から約100kmから200km深い、深さ500km前後の場所(領域c)ではM6.0以上の地震がしばしば発生しているが、領域b内ではM6.0以上の地震は発生していない。また、今回の地震の震源から約350km深いところでは、2015年5月30日にM8.1の地震(最大震度5強)の地震が発生し、東京都で地震関連負傷者8件、埼玉県で負傷者3人、神奈川県で負傷者2人等の被害を生じた(総務省消防庁による)。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域d)では、M7.0以上の地震が時々発生している。

震央分布図

(1923年1月1日～2015年10月31日、
深さ0～700km、M 6.0)



今回の地震
の震央位置

領域d内のM - T図

